

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名 地域高規格道路 熊本天草幹線道路 一般国道57号 <small>くまもと</small> 熊本宇土道路	事業 一般国道 区分	事業 国土交通省 主体 九州地方整備局																												
起終点 自：熊本県熊本市南区海路口町 <small>くまもとしみなみくうじくちまち</small> 至：熊本県宇土市城塚町 <small>うとしじょうづかまち</small>	延長 3.8km																													
事業概要 熊本宇土道路は、熊本市と天草市を結ぶ地域高規格道路「熊本天草幹線道路」の一部を構成し、熊本市と宇城・天草地域の連携を強化し、観光振興や農水加工品をはじめとする物流効率化等を図るとともに、国道3号、57号の交通混雑緩和や交通安全性の向上等を目的とした事業である。																														
H9年度事業化	H一年度都市計画決定 (H一年度変更)	H13年度用地着手	H18年度工事着手																											
全体事業費	約404億円	事業進捗率	約28%	供用済延長	0.0km																									
計画交通量	14,200台/日																													
費用対効果 分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">B/C</td> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">1.7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td></td> <td style="text-align: center;">2.7</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体)	1.7	(残事業)		2.7	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総費用</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">221/358億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業費)</td> <td style="text-align: center;">211/348億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(維持管理費)</td> <td style="text-align: center;">9.8/9.8億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体)	221/358億円		(事業費)	211/348億円	(維持管理費)	9.8/9.8億円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総便益</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">601/601億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益)</td> <td style="text-align: center;">479/479億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(走行経費減少便益)</td> <td style="text-align: center;">85/85億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(交通事故減少便益)</td> <td style="text-align: center;">36/36億円</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/(事業全体)	601/601億円		(走行時間短縮便益)	479/479億円	(走行経費減少便益)	85/85億円	(交通事故減少便益)	36/36億円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">基準年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成25年</td> </tr> </table>	基準年	平成25年
B/C	(事業全体)	1.7																												
(残事業)		2.7																												
総費用	(残事業)/(事業全体)																													
221/358億円																														
(事業費)	211/348億円																													
(維持管理費)	9.8/9.8億円																													
総便益	(残事業)/(事業全体)																													
601/601億円																														
(走行時間短縮便益)	479/479億円																													
(走行経費減少便益)	85/85億円																													
(交通事故減少便益)	36/36億円																													
基準年																														
平成25年																														
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=1.6~1.8 (交通量 ±10%) 【残事業】交通量：B/C=2.5~2.9 (交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.5~1.9 (事業費 ±10%) 事業費：B/C=2.0~3.0 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.5~1.9 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=2.4~3.1 (事業期間±20%)																														
事業の効果等 ①広域ネットワークの形成・地域間交流の支援 ・熊本市～天草市へのアクセス時間の短縮 ②観光振興の支援 ・天草地域の観光施設へのアクセス性向上 ③物流効率化の支援 ・天草市から熊本市までの所要時間短縮により、水産物や農産品の鮮度向上や品質確保、市場拡大に寄与 ④交通混雑の緩和 ・並行する国道3号や国道57号の交通混雑緩和及び走行性向上 ⑤交通安全性の向上 ・交通死傷事故発生件数の減少 ⑥救急医療活動の支援 ・第三次救急医療施設（熊本市）への救急搬送の支援及び救急搬送時間短縮による救命率の向上 ⑦災害に強いネットワークの形成 ・災害時の代替路となる信頼性の高い道路ネットワークを形成																														
関係する地方公共団体等の意見 天草市をはじめとする6市町で構成される①熊本・天草間幹線道路整備促進期成会（会長：天草市長）、宇土市長等により構成される②宇土市長、宇土市議会及び同地域高規格道路促進等対策特別委員会等により早期整備の要望を受けている。（①平成25年8月、②平成25年10月）																														
県の意見： 一般国道57号熊本宇土道路は、県内の広域高速ネットワークを形成する地域高規格道路「熊本天草幹線道路」の一部を担い、熊本都市圏と県内主要都市を半日行動圏とする「90分構想」の実現と熊本都市圏の拠点性向上の実現のために必要な道路です。																														

また、本道路は、物流の効率化などに寄与するものであり、「熊本都市圏都市交通アクションプログラム」にも骨格幹線道路網の整備に位置付けています。

以上のことから、「対応方針（原案）」のとおり事業を「継続」していただき、できる限り早期に整備を完了していただきますようお願いいたします。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、事業継続。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

事業沿線の熊本市・宇土市の人口及び一世帯あたりの自動車保有台数は、近年同程度で推移している。国道57号現道の交通量は増加傾向にあり、混雑度は約1.4である。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成24年度末の事業進捗率は約28%であり、そのうち用地進捗率は約98%となっている。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き残工事等の事業進捗を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

- ・評価対象の変更(用地4車+工事2車→用地4車+工事4車)による増 【約66億円増】
- ・新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上、事業の効果及び進捗状況、事業評価監視委員会における審議、地方公共団体等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。